

「私らしさ」

の

民族誌

現代エジプトの女性、格差、欲望

今回は、鳥山純子氏の近著『「私らしさ」の民族誌——現代エジプトの女性、格差、欲望』（春風社、2022）を題材に、現代エジプトの悲喜こもごも、「エジプト人」らしさ、フィールド調査から出版までの長い道のりについて、語り手が思うところを話し合います。ふるってご参加ください。



4.18 Mon 17:30~19:00

語り手

鳥山 純子 (立命館大学) 竹村 和朗 (高千穂大学)

【登壇者紹介】

◆鳥山 純子 (とりやま じゅんこ)

立命館大学国際関係学部・国際関係研究科准教授。専門は、中東ジェンダー論、文化人類学。エジプトを中心に、中東・北アフリカ地域の日常生活の在り方を格差の視点から検討している。エジプトの大家族で生き残ろうともがいた日々を糧に研究を続けている。竹村さんの第一印象は当時エジプトではまだ珍しかったピッタピタのストレッチジーンズ。著書・編書に、本イベントでとりあげる『「私らしさ」の民族誌、現代エジプトの女性、格差、欲望』（春風社）、『フィールド経験からの語り IGS4』、など。4月30日にはイスラーム映画祭(神戸)でトーク登壇します。

◆竹村 和朗 (たけむら かずあき)

高千穂大学人間科学部准教授。専門は、中東地域研究、文化人類学。エジプトの沙漠開発について調査している間に契約書や法律が社会の中に入り込んでいることに気づき、以来、法制度や憲法についても研究を進めている。根っこにあるのは、アラビア語の言葉や表現への関心なのかもしれない。鳥山「先輩」とは、20年前くらいにAUCのグリーク・キャンパスで出会った。著書に『現代エジプトの沙漠開発』、『ムパーラクのピラミッド』（いずれも風響社）がある。

【今回の課題図書】鳥山 純子『「私らしさ」の民族誌——現代エジプトの女性、格差、欲望』（春風社、2022）

【参加方法】ZoomのURLを当日正午までにe-mailアドレスにお送りします。

【主催】科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究(代表・長沢 栄治)

【共催】立命館大学中東・イスラーム研究センター(CMEIS)

・科研費国際共同研究強化(B)ポスト・アラブの春時代における中東ムスリムのグローバル移動と社会関係の複合的再編(代表・齋藤 剛)

【問い合わせ先】イスラーム・ジェンダー学科研事務局